



NPO PTPL “ともいき” 便り No.143

平成30年（2018年）3月21日発行

■春分（しゅんぶん） 平成30年3月21日から4月4日までの節気

町で卒業式の学生さんたちの姿を見かけるようになりました。旅立ちの季節ですね。私の小学生の孫たちも、宿題のない春休みは嬉しいようです。二十四節気では21日から4月4日まで春分の節気にはいります。寒さもすっかりやわらいで春半ばのころ。愛犬と散歩をする遊歩道ではジンチョウゲやモクレンやレンギョウが咲いています。カラスノエンドウやヨモギやナズナなどもあちらこちらに生え出して、みずみずしい若緑色に春を感じます。植物は私たちにさりげなく季節の変化を教えてくれます。

そして、今年も桜の季節がやってきました。日本気象協会がだしている「日本の365日季節の道しるべ」という本があります。その春分の期間をみると、3月27日は「さくらの日」とあります。1992年に財団法人日本さくらの会が制定しました。27日が春分の七十二候のひとつ、「さくら始めて咲く」の期間（今年は3/25から30）にはいることと、「咲く→3・9→3×9=27」の語呂合わせで3月27日を「さくらの日」としたそうです。平安時代初期の史書「日本後紀」にも「さくら始めて咲く」の期間に花見の宴がはじめて催されたという記述があるそうです。29日の項目には「桜月夜」という言葉がありました。夜の桜、とくに月夜の桜は風情があつていいものだと書かれています。3月31日は満月です。ぜひ、桜が咲いていたら桜月夜を楽しんでみてください。

先日、新たまねぎと新じゃがを買いました。新たまねぎは、春に収穫するたまねぎで、みずみずしくてやわらかくて、そのままスライスしてサラダにして食べるとおいしいですね。新たまねぎがみずみずしいのは乾燥させないで出荷するからだそうです。新じゃがは皮がうすいので、よく洗ってそのまま素揚げしてもおいしいです。菜の花、ウド、セリ、ふき、そしてわらび、ぜんまい、たらのめなどの山菜もスーパーの野菜売り場に並んでいます。春野菜はなんだ

か生命力にあふれているような気がします。自然のエネルギーをたっぷりいただいて、これからくる暑さに備えたいと思います。

21日の春分の日には昼と夜の長さが同じで、この日を真ん中に前後3日間の7日間が春のお彼岸です。お墓参りにいかれる方も多いと思います。我が家でもご先祖さまのお墓と愛犬のお墓にお参りにいきます。愛犬の柴犬ナックは18歳で亡くなりました。ナックは息子たちが生まれたときにはすでに10歳でしたが、こどもたちに馬代わりにされようが、尻尾をひっぱられようが怒りませんでした。いい友だちでした。息子たちはナックが大好きでしたから、亡くなったときはショックが大きくて、翌日の始業式に行かれませんでした。ナックは「死」というものを息子たちに教えてくれたのだと思います。

秋の彼岸に咲くのはマンジュウシャゲ。春の彼岸の花はなんでしょう。春分ごろ霊園に咲いている花を「春の彼岸花」とすれば、我が家の場合はコブシでしょうか。みなさんの春の彼岸花は、なんですか。

春の到来は嬉しいのですがお天気が変わりやすい季節でもあります。くれぐれもご自愛ください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

日本 2018 ジャパネスク・・・あなたと日本の話をしてみたい・・・Vol. 3

昭和は戦災の時代でした。戦禍の記憶も次第に薄れようとしています。今年、戦争末期の惨状から70年目にあたります。わが国が始めた第2次世界大戦は歴史にない甚大な被害をもたらしました。戦没者は、閣議決定によると約310万人に及びました。

昭和20年3月10日の深夜、東京上空に飛来したB29爆撃機が、約2時間で33万発以上の焼夷弾を投下しました。江東区・墨田区・台東区から千代田区や江戸川区にかけての広い範囲が焼け野原となりました。一晩にして10万人が死亡し、罹災家屋は27万戸にのぼりました。翌12日からは4度にわたる名古屋の大空襲、13日から8度もの大阪の大空襲。そして、8月6日には、広島に原爆が投下されました。当時の広島市の推定人口35万人のうち9万～16万6千人が

死亡したとされます。8月9日は長崎市への原子爆弾投下。当時の長崎市の推定人口24万人のうち約7万4千人が死亡しました。

さらに、最大の被害を被った沖繩戦は、3月26日の慶良間諸島米軍上陸から始まり、6月23日に、司令官自決をもって日本軍の戦闘は終結します。しかし、正式に降伏調印式が執行されたのは9月7日のことであります。摩文仁の丘に並ぶ慰霊碑には沖繩戦で亡くなった数十万人の名前が刻まれています。

平成は天災の時代です。わが国は、打ち続く地震や噴火、台風や洪水などの災害によって国土は危機に陥りました。戦後50年にあたる平成7年、阪神・淡路大震災が起きました。その後も平成12年の鳥取県西部地震、平成16年の新潟県中越地震、平成20年の岩手・宮城内陸地震、平成23年の東日本大震災、平成26年の長野県神城断層地震などが各地で発生しています。ことに、東日本に起きた世界的規模の自身は津波を伴って大災害をもたらしました。原子力発電所の壊滅状態は、現代の科学技術は自然の猛威に対して無力であること改めて明らかに示しています。

また、平成26年に発生した御嶽山噴火は、日本国内において噴火災害で死者を出したのは、平成3年の雲仙・普賢岳の大火砕流以来となり、死者数も雲仙・普賢岳を超え、戦後最悪となりました。平成30年には草津白根火山の本白根山が3000年ぶりに噴火しました。つい最近でも、九州霧島連峰の新燃岳の爆発的な噴火、活発な噴火活動がいまも続いています。

東日本の大震災は、自然と切り離された現代社会の繁栄がいかに脆弱であったかを根底的に明らかにしました。国難というべき噴火や地震は、人の制御を超えた自然の威力を目の当たりにさせました。この国に暮らす私たちは、天災の起こるたびに、共に悲しみ、共に苦しみ、共に助け合い、共に生きてきました。

いま、大都会に暮らす私たちは予知できぬ大地震におびえながら、自然と人、人と人が共に生き、共に幸を分かち合う心情を見失っているように思えてなりません。

日本 2018 ジャパネスク

あなたと日本の話をしてみたい。

discover japanesque

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●3月も中旬を過ぎ、いっきに春めいてきました。東京地方も3月17日(土)に桜の開花が発表されました。いよいよ桜のシーズンです。

スーパーや八百屋さんの店頭にも新じゃが、春キャベツなどの春野菜、そしてセリ、ふきなどの山菜が並び始めました。旬にいただく食材が豊富というのは日本ならではの贅沢ですね。

※「ともいき暦」の「旬の食材」もご覧ください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2018/>

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしくお願ひします。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp